

海外安全対策情報 平成27年度第4四半期

1 社会・治安情勢

- (1) 1月26日、ナリン市において、政府機関の高地手当の減額に反対する400人規模のデモが実施された。
- (2) 2月10日、ジャララバード州アク・スー地区において、社会保障費の削減停止や電力料金値上げに反対する200人規模のデモが開催された。
- (3) 2月18日、タラス州マナス地区において、ジェルイ金鉱山の操業停止と電力料金の値上げの撤回を求める600人規模のデモが開催された。
- (4) 2月25日、ジャララバード州トクトグール地区において、金鉱山の開発に反対する100人規模のデモが開催された。
- (5) 3月14日、ジャララバード州ケルベン市において、電気料金値上げ及び自動車強制保険導入に反対する150人規模のデモが開催された。
- (6) 3月14日、ジャララバード州アクス地区において、同日のケルベン市のデモがキルギスの安定を阻害すると主張する100人規模の集会が開催された。
- (7) 3月17日、ジャララバード州トクトグール市において、電力料金値上げに反対する200人規模の集会が開催された。
- (8) 3月22日、ジャララバード州アクス地区において、政府にウズベキスタンとの国境問題解決を求める400人規模のデモが開催された。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

殺人、強盗等の凶悪事件が散見される他、空き巣、公共交通機関やバザールでのスリ、置き引き等の窃盗事件が日常的に発生し、銃器薬物関係犯罪の発生も多い。日本人は、路上強盗、窃盗、また官憲による賄賂の要求等に特に注意を要する。

(1) 殺人・強盗等、凶悪犯罪の一例

ア 1月12日、ビシュケク市内務局は、ビシュケク市内の人家において、貴金属約36,000ソム相当を強奪した被疑者を逮捕したと発表した。

イ 1月22日午前8時ころ、イシククリ州バルクチ市において、クムトール金鉱山に勤めるカナダ人の自宅に強盗が侵入し、現金600米ドル及び3,500ソム、タブレット端末を強奪する強盗事件が発生した。
同日、警察が被疑者3人を逮捕した。

ウ 2月1日、チュイ州アラメディン地区において火災が発生し、2人の焼死体が発見された。2月3日、警察は、放火殺人容疑で被疑者3人を

逮捕したと発表した。

エ 2月1日、ビシュケク市ボコンバエバ通りとイサノバ通りの交差点付近において、組織犯罪グループ幹部の男が射殺された。

オ 1月28日、ビシュケク市において女兒が行方不明となり、2月17日、警察は、女兒の遺体を発見し、殺人容疑で被疑者を逮捕したと発表した。

カ 2月6日、ビシュケク市バイティックバートル通りとスクリヤーヒン通りの交差点付近に所在する現金交換所において、36,000ドルが強奪される強盗事件が発生した。2月13日、警察が被疑者3人を逮捕した。被疑者3人の内1人は両替所の従業員であった。

キ 3月5日午後1時ころ、ビシュケク市オシュバザール内において、携帯電話、旅券、鍵及び現金5,000ソムを強奪する強盗事件が発生し、3月7日、警察が被疑者を逮捕したと発表した。

ク 3月24日、チュイ州イシク・アタ地区において、妊婦1人を含む女性3人が殺害された。警察は強盗目的の殺人事件とみて捜査を継続している。

(2) 邦人被害

認知していない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) テロ事件

ア 1月4日、警察は、オシュ州カラ・スー地区における殺人事件の捜査の結果、囑託殺人容疑でウズベキスタン国民を拘束したと発表した。被疑者は「タウヒード・ワ・ジハード運動」の指導者であるシェイク・アブ・サロハの支援の下、他のウズベキスタン国民と共にシリアにおいて戦闘訓練を1年3ヶ月受けていた。被疑者はキルギス国民1人と共にキルギス国内における犯罪計画を持っていたと警察が発表した。

イ 1月4日、内務省は、キルギス南部において過激派对策作戦を実施した結果、8人のイスラム国支持者が判明し、ジャララバード州においては村全体が宗教過激派活動の支援を行っていたと発表した。

ウ 1月15日、国家安全保障委員会は、ジャララバード州において、最近シリアから帰還した男を武器及び6,000発以上の銃弾を所持していた容疑で拘束したと発表した。被疑者は客年7月に発生したビシュケク市内におけるテロ未遂容疑事案の実行犯と関係があるとみられている。

エ 2月5日、国家安全保障委員会は、タラス市に居住の男性が妻と3人

の子供をシリアの紛争地域へ渡航させた事件に関与していると発表した。同日、同委員会は、タラス州において、シリアへのリクルート活動を行っていた被疑者2人を逮捕したと発表した。

(2) 爆弾事件

認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 誘拐・脅迫犯罪の一例

ア 3月7日、内務省は、組織犯罪グループ構成員を含む被疑者5人を殺人容疑で逮捕したと発表した。被疑者らは、1月7日、チュイ州トクモク市において、銃器を使用して被害者を誘拐した上殺害し、遺体をチュイ州ジャヌ・ターミッシュ村に遺棄した。2月3日、被疑者の内2人が逮捕され、本件犯罪を自供していた。

イ 2月18日、チュイ州トクモク市において、市役所職員が誘拐され、身代金10,000ソムを恐喝する事件があり、3月10日、警察は、組織犯罪グループ構成員1人を逮捕したと発表した。

ウ 3月22日午前8時ころ、ビシュケク市カムスカヤ通りにおいて、トルクメニスタン国籍の男性が誘拐され、被害者の妻に対し2,000ドルを要求する身代金目的誘拐事件が発生した。3月23日午後3時ころ、ビシュケク市内において、被害者の使用車両が発見され、乗車していた被疑者である警察官3人が逮捕された。

(2) 邦人被害

認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

キルギスでは、1999年8月に南部バトケン州において、邦人4名等が過激派武装勢力により誘拐されており、注意を要する。(了)